

第七十六回 帝國議會
院衆議

民法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第四回

出席委員左ノ如シ	會 議
昭和十六年二月二十二日(土曜日)午前十時	四十分開議
委員長 飯村 五郎君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
理事坂田 道男君 理事崎山 嗣朝君	民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
理事仲井間宗一君 理事林 平馬君	非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
石坂 繁君 金澤 正雄君	貴族院送付)
川副 隆君 佐竹 晴記君	民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
鹽川 正藏君 庄司 一郎君	戶籍法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
内藤 正剛君 仲西 三良君	陪審法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
廣川 弘禪君 古島 義英君	大正二年法律第九號中改正法律案(裁判所管轄區域ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)
手代木隆吉君	大正二年法律第五十一號中改正法律案(司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル件)(手代木隆吉君外九名提出)
出席國務大臣左ノ如シ	○仲井間委員長代理 一寸速記ヲ止メテ
司法大臣 柳川 平助君	タイト思ヒマス
出席政府委員左ノ如シ	○柳川國務大臣 提出ノ理由ハ昨日ノ手代木サンカラ承リマシテ、又只今古島サンカラノ御話デ、洵ニ極ク少數デアリナガラ残ツテ居る者ニ對シテハ同情スペキ點ハ多々アルト思ヒマスガ、司法省デ調べマシタノデハ、モウ残ツテ居ル人ハ殆ド極ク少數デ昨年ノ如キモ志願者ガ百二十三名、受験者ガ百十三名デアリマシタ、合格者ハ御話ノ如ク僅カ五名デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ狀況デゴザイマス、是マデノ行掛リデ延期シナイ、延期シナイト云フコトデ、是ハニレバ、是ハ致シ方ハナイ、同意シヨウモアリマスシ、若シ多少ノ短縮デモシテ本院ヲ通過シ、貴族院ガ通過スルト云フコトス、ドナタカ質疑サレル方ヘ居ラレマセヌカ
司法省民事局長	ニナレバ、是ハ致シ方ハナイ、同意シヨウモアリマスシ、若シ多少ノ短縮デモシテ本院ヲ通過シ、貴族院ガ通過スルト云フコトス、ドナタカ質疑サレル方ヘ居ラレマセヌカ
司法省調查部長	ト云フコトノ御意見ガ出ナイモノデゴザイ
司法書記官	マセウカ、是非サウ云フヤウナ御意見ニシテ戴キタイノデアリマスガ、其ノ點ヲ承リ
司法書記官 太田 耐造君	○古島委員 司法省ニ試験規則ノ改正ノ點

付託議案
民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二六號)
非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二七號)
戶籍法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二八號)
陪審法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第四四號)
大正二年法律第九號中改正法律案(裁判所管轄區域ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第四五號)
大正十二年法律第五十一號中改正法律案(司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル件)(手代木隆吉君外九名提出)(第二號)

出來ナイ點ヲドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○内藤委員 今大臣ノ御答辯ガアリマシタ

ガ、從來過去十年間ノ慣例ニ依ルト、大臣

若シクハ司法當局ガ兩院通過ノ曉得ナイト

明言出來ナイ爲ニ、考慮致シテ置ク、斯ウ

云フ御説明ガアルト、大體今マデハ延ビテ

居ル傾向ガアリマスルノデ、只今ノ御言葉

ノ兩院通過ノ後ハ考慮スルト云フ御話ハ、

相當強イモノニ承ツテ置イテ宜シイデセウ

○柳川國務大臣 全クドチラカヘ寄セテ考

ヘラレヌデ、言葉通り、只今ハサウ云フ言

明ヲ致シ兼ネル狀況デゴザイマスカラ、ド

ウゾ御諒承願ヒマス

○庄司委員 大正十二年法律第五十二號中

第一項ニ「昭和十六年十一月三十日迄」ト

ゴザイマスノフ、其ノ年限ヲ滿三箇年間ダケ

將來ニ延長致シマシテ「昭和十九年十二月三

十一日迄」ト斯ウ改タル所ノ修正意見ヲ提出

致シタイト思フノデアリマス、即チ現行法ニ

依リマスト、本年ノ年末マデシカナイノデ

アリマス、ソレヲ手代木サンノ御提案ニナラ

レマシタノハ、向フ滿五箇年ト云フ案ノヤ

ウデゴザイマス、聊カ妥協的デハアリマスケ

レドモ、社會政策的ニ考ヘマシテモ、又民間

ノ人材ヲ拔擢スルト云フヤウナ當世ノ時代

思潮ニ鑑ミマシテモ、折角此ノ御執意ノ籠ツ

タ御案ヲ葬ムルト云フコトハ、吾々ノ道義

ニ改ム」斯ウ云フ修正動議ヲ提出致シマス、

御一同ノ御賛成ヲ得、又政府ニ於カレマシ

テモ、兩院通過ノ曉ニ於テハドウカ御善處

願ヒマシテ、是ガ實際施行サレルヤウニ御

配慮ヲ願ヒタイト云フ意味ニ於テ、修正意

見ヲ提出シタ次第デアリマス

○仲井間委員長代理 只今大正十二年法律

第五十二號中第一項中ノ「昭和十六年十二

月三十一日迄」ヲ昭和二十一年十二月三十

一日迄ニ「改ム」トノ修正意見ガ庄司君ヨリ

述ベラレマシタ、其ノ點ニ付キ提案者ノ御

意見ヲ求メマス

○手代木委員 提案理由ヲ説明致シマシタ

際ニモ申添ヘタノデアリマスガ、年限ノコ

トニ對シマシテハ、別ニ固執スルモノデハ

ナイト云フコトヲ明カニ致シテ置イタノデ

アリマス、只今ノ修正ノ御意見ニ對シマシ

テハ固ヨリ何等ノ異議ガナイノデアリマシ

テ、御修正ニナリマシタ案ガ通過致シマス

ルナラバ、ソレデ提案者ト致シマシテハ滿

足ヲ致ス次第デアリマス

○仲井間委員長代理 修正意見ニ御異議ア

リマセヌカ

マセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ」

○仲井間委員長代理 異議ナシト認メマス、

修正意見ハ通リマシタ——別ニ御發議ハア

リマセヌカ——別ニ御質疑モナイヤウデア

リマセヌカ、是デ質疑ハ終了致シマシタ——

此ノ際御諮詢致シマス、大正二年法律第九

號中ノ改正法律案ハ他ノ法案、即チ民法中

改正法律案外四件ト一括致シマシテ採決ヲ

シ、大正十二年法律第五十二號中改正法律

案ヲ分離致シマシテ、此ノ法律案ダケニ付テ

採決ヲ致シタイト思ヒマスガ、御異議ハアリ

ニ年々應ズルト云フ其ノ熱意ハ、買ツテヤラネバナラヌノデアリマス、其ノ熱意ヲ買

ツテヤルト云フコトガ人ノ情ケデアリマス、

人ノ情ケデアルト共ニ法律ノ情ケデアリマス、ソコニ思ヒヲータビ致シマスルト、去

スルカラ、之ヲ許シマス——古島義英君

スアルカラ、其ノ約束ニ基イテ延バス譯ニハ參ラヌト斯ウ仰セニナリマシテモ、去年

ハサウ思ツテ居ツタガ、成程考ヘテ見ルト

ドウモ今年モサウ云フ事情ニナツテ居ルガ

ハサウ思ツテ居ツタガ、人ノ涙デア

リマス、最後ノ救ヒノ手デアリマス、斯ウシテ

ヤツテコソ、吾々ハ是ダケ延バシテ貰ツタノ

ダカラ、モウ延バシテ貰ヘナイト思ツタノガ

リマス、最後ノ救ヒノ手デアリマス、斯ウシテ

ラズ、尙ホソレヲ拋棄セズシテ、熱心ニ試

驗ニ應ジテ居ルト云フ人達ハ、假令一人デ

モ、二人デモ非常ニ執意アル人達デアリ

マス、況ヤ百二十三名ノ人達ガ去年モ出願

致シタト云フノデアリマスカラ、此ノ人達ハ自分ハ不規則ナル學問ハ致シタガ、是非

司法官試補ナリ、或ハ辯護士ナリノ試験ニ

應ジテ、之ニ及第ヲ致シタイト云フ殆ド拔

クベカラザル御覺悟ノアル人達デアルト思

フノデアリマス、斯ウ云フ人達ガ最後ニ残

ツテ居ツテ是レマデ骨ヲ折ツタノダガ、是

デ到頭イケナクナツタト云フノデ失望スルト云フコトハ、洵ニ見ルニ忍ビナイノデア

ドウシテモヤラウト云フノデ、濟シ崩シニ
之ヲ延バシテヤルト云フコトハ、其ノ人達
ヲ鞭撻スル意味ニ於テモ非常ナ效果ガアル
ト私ハ思フノデアリマス、此ノ際モ、大臣
ノ御答ヘデアリマスガ、衆議院ト貴族院ヲ

通ルナラバ、通ツタ後デ御考慮下サルト云

フノデアリマスガ、先づ衆議院ガ通リ貴族

院ガ通ルト云フコトニナレバ、衆議院ノ人

達ガ皆寄ツテ、サウ云フ場合ニハ一滴ノ涙

ヲ注イデヤラウ、貴族院ノ人達モサウ云フ

場合ナラバ救ヒノ手ヲ伸バシテヤラウ、斯

ウ云フコトノ寄り集ツタ結果ガ、兩院ヲ通

過スルノデアリマスルカラ、大臣ト雖モ其

ノ時ニナレバ兩院ハ通過シタノダケレドモ

是ハ知ラヌト云フ譯ニハ參ラヌ、ソレ程人

様ガ救フト云フノナラバ、自分モ手ヲ差伸

ベテヤラウト云フコトニナルコトハ疑ヒナ

イ事實ダト私ハ信ジマスノデ、此ノ點ハ自

分デ堅ク信ジマシテ、只今ノ修正案ニ賛成

ヲ致シ、本法案ノ通過ニ向ツテ、私ハ飽ク

マデモ之ニ賛成致シタイト云フコトヲ申述

ベテ、討論ニ代ヘタイト思ヒマス
ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○仲井間委員長代理 起立總員仍テ本案ハ
修正案ノ通り可決致シマシタ——殘餘ノ日
程ハ午後一時半ヨリ審議致スコトニ致シマ
シテ、ソレマデ休憩致シマス

午前十一時二十四分休憩

午後一時四十九分開議

○飯村委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ
マス、午前中ニ質疑ヲ終了致シマシタル大

正二年法律第九號中改正法律案並ニ前會質
疑ヲ終了致シマシタ民法中改正法律案外四
件、都合五件ヲ一括シテ議題ニ供シマス、

是ヨリ討論ニ入りマス、別ニ御發議ハアリ
マセヌカ

〔「ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○飯村委員長 ナシト認メマス、是ヨリ採
決ヲ致シマス、本案ニ賛成ノ方ノ御起立ヲ

願ヒマス

〔總員起立〕

○飯村委員長 満場一致、本案ハ可決スペ
キモノト議決致シマシタ、之ヲ以テ本日ハ

散會致シマス、御苦勞サマデゴザイマシタ

午後一時五十分散會

昭和十六年一月二十三日印刷

昭和十六年一月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局